

114  
A4441



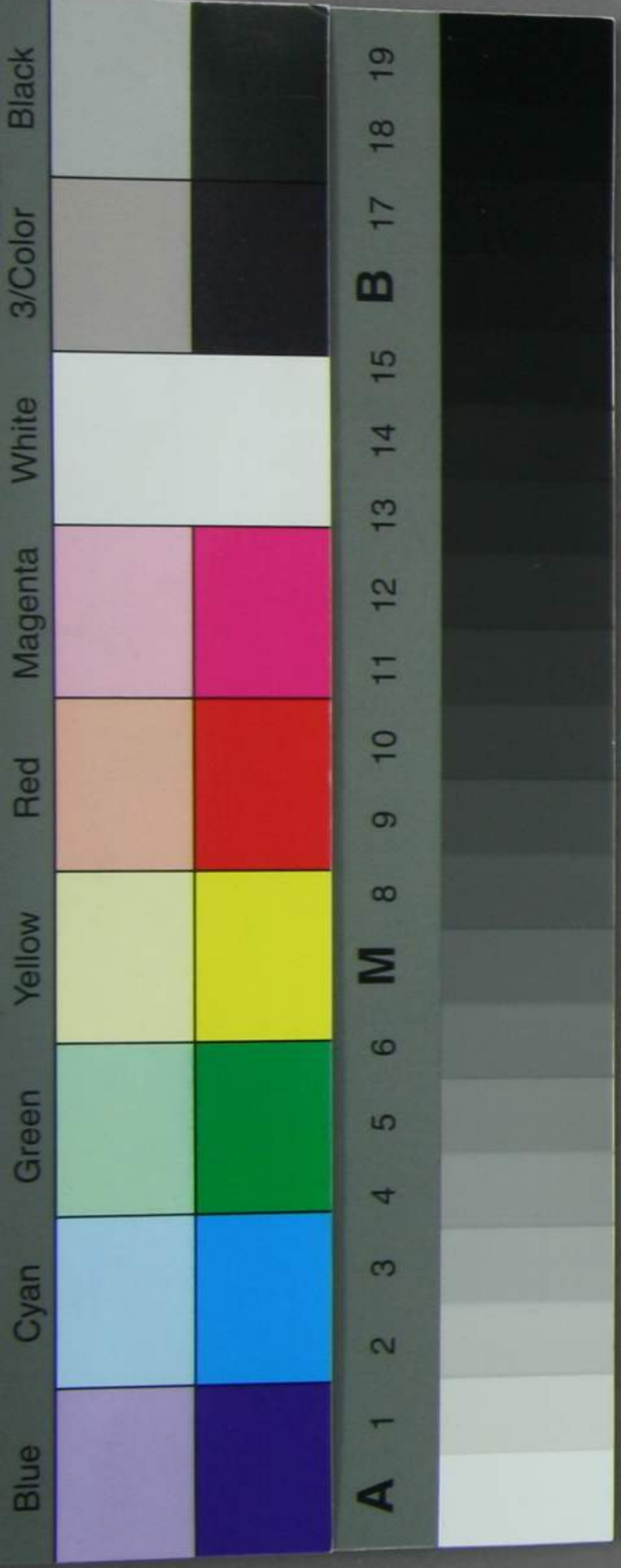
大正十一年四月  
隈壽郎寄贈

第四十二号ノ覚書ニ記セル報ニ付キ余謹テ閣  
下ニ申ス余毎週新聞紙ノ發行ノ後ニ付キハウ  
ス氏及ヒ福地氏ト商議セシ処右両氏共ニ其新  
聞紙ハ英語十二面日本語十二面ニシテ兩國語  
ニ於ケル重要ノ箇條ハ同時ニ反訳シテ公ケニ  
為ス可ク而シテ英語ノ分ハハウス氏之ヲ編輯シ  
日本語ノ分ハ福地氏之ヲ編輯シ政府ノ一官吏  
之ヲ監督ス可キトノ説ナリ

右新聞紙總体ノ目的ハ第四十一号覚書第七節

審判官事務局

118  
A4441





ヲ参考ス可シ

右新聞紙ノ見積高、英語ノ分ハ一ヶ月六百四十五弗、日本語ノ分ハ一ヶ月五百四十五弗、總テ一ヶ月千百九十弗タル可シ、蓋シ此類ノ新聞紙、通常ノ受取高ヲ丁寧ニ取調ヘシ處ニ據レバ、一ヶ年ヲ經スシテ其得ル所其失ヲ所テ全ク償フニ足ル可ク、其時ヨリ後ハ此目論見ノ為メ若テノ利ヲ入ル可キ算計ナリ、皆又英語ノ分ノ一ヶ年買入高ハ二十弗タル可ク、然レ時ハ百枚ヲ賣レハ一ヶ年二十弗ヲ得可ク、三百枚ヲ賣レハ

一ヶ年五千弗

此數疑ハシ

ヲ得可ク、而シテ廣告ハ各発行

毎ニ一面ナラハ二十弗、各発行毎ニ五面ナラハ

百弗、一ヶ月六度ナラハ六百弗、十二ヶ月間ナラ

ハ七千二百弗タル可シ、故ニ此新聞ノ発行ヲ十

分ニ執行ノ時ハ毎歳ノ受取高一萬二千二百弗

ヨリ少ナキナラカレ可ク、一ヶ年ノ後ニハ更ニ

其受取高ヲ増スニ至ル可シ

日本語ノ分ニ付テハ其受取高右ニ比スレハ較

ク少ナカレ可シ、雖モ其高ハ頗ル夥多ナル可

シ



若シ一ヶ月四回ニ代、福地氏ノ説ニ従テ一ヶ月六回即チ一六ノ日ニ発行スルニ決セハ以テ新聞ノ大サヲ変シ以テ其費用ヲ右ト同シカウシム可シ謹言

千八百七十九年

チヤールレス、レゼンドル

四月五日

大藏卿

大隈重信閣下

日本語十二面 英語十二面 ヨリ成レルコセム  
テアソ、イム、パイル新聞程ノ大サアル新聞紙発行ノ月費見積書

一 一面一回ヲ、ニテ日本語ノ活字ヲ植エル費用

但シ十二面ニテ一ヶ月四回

四十八弗

一 一面五、銭、ニテ英語ノ活字ヲ植エル費用



用

但シ十一月ニテ一月四回

此金 二十四弗

一 毎号二回ツ、ニテ總作二十四面ヲ五百通ノ  
印刷スル費用但シ一月四回

此金 八弗

一 局ニ用フル家賃等

此金 十二弗

一 日本通辨官給料

此金 百弗

一 配達人雇賃

但シ四枚ニ付キ一銭ト為シ一月二十  
枚ニテ

此金 五弗

一 紙代

但シ一束五百枚ツ、トシ一束ノ價五回  
トシテ

此金 二十弗

一 郵便賃

但シ三不通リノ外国ニ出テ見

此金 百弗

本邦郵便局



此金 二十四市

一 小使給料

此金 十市

一 勘定方給料

此金 二十五市

一 文房具代

此金 四市

一 英佛語ノ新聞紙買入代

但シ交換シテ得可カラサル者

此金 十市

メ二百九十市

一 日本編輯者ノ給料

四百市

一 外國編輯者ノ給料

五百市

メ九百市

合計千百九十市也

日本及ニ外國編輯者ノ給料ハ本人ヨリ  
ル所ニ據テ之ヲ定メタル者ニシテ余ニ亦敢  
テ之ヲ過分ト認ハスハウズ氏ノ言ニ據レハ  
同氏ハニニヨリトリビニシテ新聞局ニ

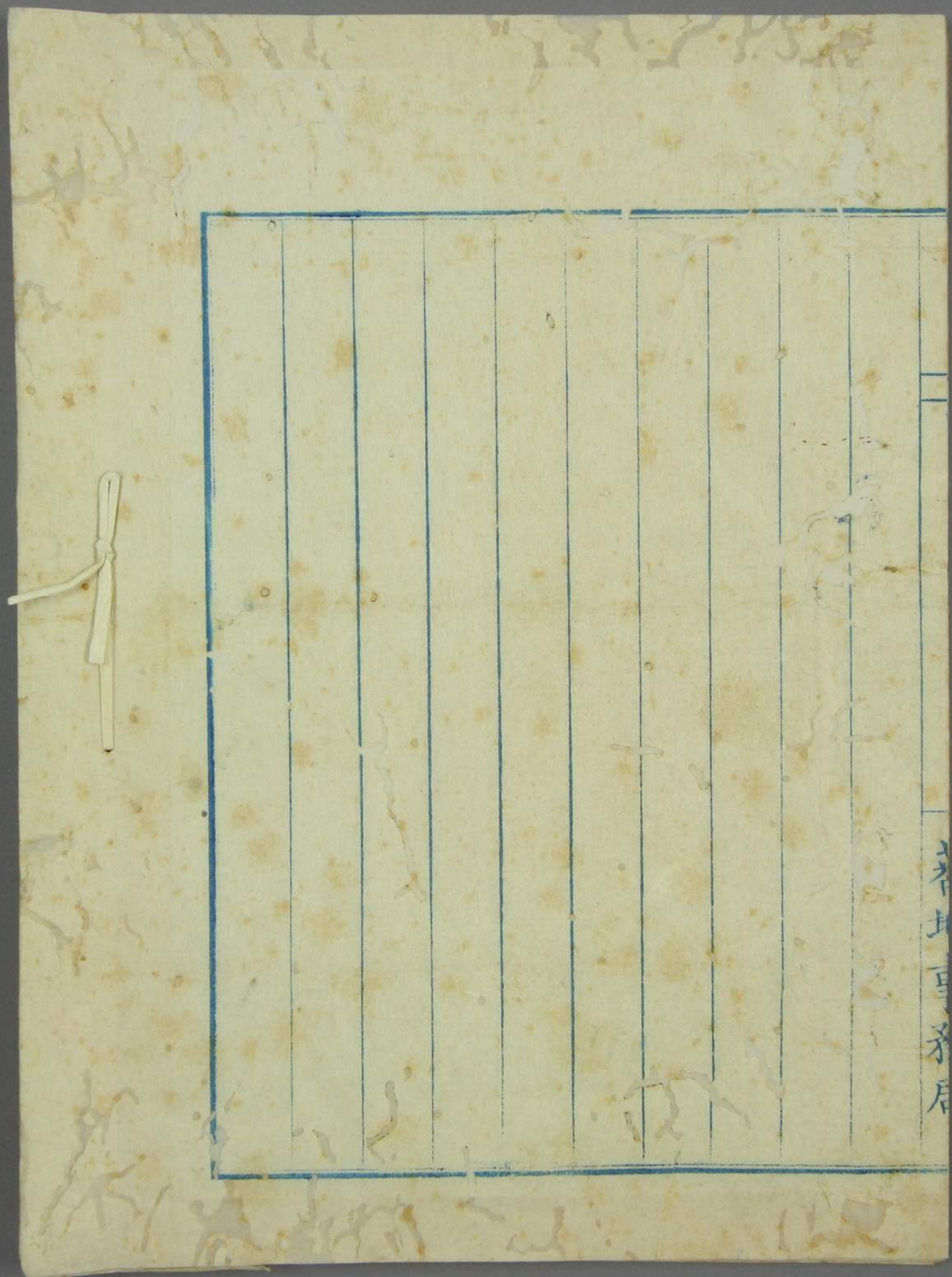


勤仕セシ時方今其求ハル所ノ給料ニ得ニル  
由ナリ

右費用ノ中ニテ家ノ一部ヲ他方ヘ又貸シスル  
所ハ一ヶ月六弗ヲ減シ廣告文ノ數面アル所  
植字ノ費ヲ減シ日本ニテ紙ヲ製作スルヲ得ハ  
紙代ヲ減シ通辨官ノ給料モ亦之ヲ減シ既ニ以  
前ヨリ勘定方ヲ用フル局ニ於テ新聞紙ヲ発行  
セハ勘定方ノ給料ヲ減シ右新聞紙ノ性質廣ク  
外國ニ知レテ交換ノ容易ナルニ至ル時ハ外國  
新聞紙ノ買入代金ヲ減ス可シ

新聞ノ賣レ高及ニ廣告記入ニ付テノ受取高ハ  
費用ヲ償フニ充テ用フ可ク而シテ其高ノ増スル  
漸ニタル可キ故ニ數ヶ月間ハ費用ヲ償フ  
ニ足ラサル可シト雖モ幾モナクシテ必ス其費  
用ヲ償フニ過キ損ナクシテ得アルニ至ル可シ  
又植字室ノ外國管長ノ給料ヲ此ニ記セサル所  
以ハ新聞發行ノ業ヲ任ス可キ印刷局ノ引受  
メレハナリ





卷之五